

平成 28 年 10 月 28 日

沖縄電力株式会社

## 平成 28 年度 第 2 四半期決算について

### 1. 販売の状況

当第 2 四半期の販売電力量は、電灯はお客さま数の増加に加え、気温が前年に比べ高めに推移したことによる需要増により、前年同期に比べ 7.9% 増の 16 億 86 百万 kWh となりました。また、電力は石油業や鉄鋼業などの需要減があったものの、気温が前年に比べ高めに推移したことによる需要増により、前年同期に比べ 0.4% 増の 25 億 62 百万 kWh となりました。

その結果、電灯と電力の販売電力量合計は、前年同期に比べ 3.3% 増の 42 億 48 百万 kWh となりました。

### 2. 収支の状況

当第 2 四半期の収支については、収入面では、電気事業において、販売電力量の増加があったものの、燃料費調整制度の影響により、売上高（営業収益）は、前年同期に比べ 9 億 99 百万円減（1.0% 減）の 956 億 80 百万円となりました。

一方、支出面では、電気事業において、修繕費が増加したものの、燃料費が減少したことから、営業費用は前年同期に比べ 47 億 59 百万円減（5.3% 減）の 851 億 45 百万円となりました。

以上の結果、営業利益は前年同期に比べ 37 億 59 百万円増（55.5% 増）の 105 億 34 百万円となりました。

また、営業外損益を含めた経常利益は 38 億 60 百万円増（65.9% 増）の 97 億 19 百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は 29 億 79 百万円増（64.9% 増）の 75 億 66 百万円となりました。

なお、当年度の中間配当金については、1 株当たり 30 円といたします。

### 3. 連結業績予想

平成 28 年度通期の連結業績予想について、売上高は、電気事業において、販売電力量の増加などによる電灯電力料の増加により、前回発表（7 月 29 日）より 20 億円増（1.1% 増）の 1,781 億円を見込んでおります。利益については、電気事業において、燃料費や修繕費、他社購入電力料の増加などが見込まれるため、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については前回発表の通り、それぞれ 92 億円、76 億円、57 億円を見込んでおります。

別紙：決算の概要

以 上

(別紙)

## 【決算の概要】

## ■販売電力量

(単位：百万 kWh)

	平成 27 年度 第 2 四半期累計 (実績)	平成 28 年度 第 2 四半期累計 (実績)	増減	増減率
電 灯	1,562	1,686	+124	+7.9%
電 力	2,551	2,562	+11	+0.4%
合 計	4,113	4,248	+135	+3.3%

## ■連結経営成績 (7年ぶりの減収増益)

(単位：百万円)

	平成 27 年度 第 2 四半期累計 (実績)	平成 28 年度 第 2 四半期累計 (実績)	増減	増減率
売 上 高	96,679	95,680	△999	△1.0%
営 業 利 益	6,774	10,534	+3,759	+55.5%
経 常 利 益	5,858	9,719	+3,860	+65.9%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	4,587	7,566	+2,979	+64.9%

## ○連結業績予想 (平成 28 年度通期)

連結業績予想については、平成 28 年 7 月 29 日に公表した予想数値から修正しております。

## ■連結業績予想 (対 7 月公表値) (7年ぶりの減収増益の見込み)

(単位：百万円)

	平成 28 年度通期 前回発表予想数値 (7 月公表)	平成 28 年度通期 今回発表予想数値	増減 (対 7 月公表)	平成 27 年度 実績
売 上 高	176,100	178,100	+2,000	182,265
営 業 利 益	9,200	9,200	—	7,239
経 常 利 益	7,600	7,600	—	5,229
親会社株主に帰属 する当期純利益	5,700	5,700	—	3,647